

## 研究室紹介

ビジネスエンジニアリング研究室  
(Business Engineering Laboratory (BE Lab))

中野 冠 教授

前職：株式会社豊田中央研究所 主席研究員  
専門分野：持続可能ものづくり、環境配慮型サプライチェーン、ビジネスプロセスエンジニアリング、消費者行動  
担当：国際連携教育(欧米を中心に国際共同研究の経験豊富)

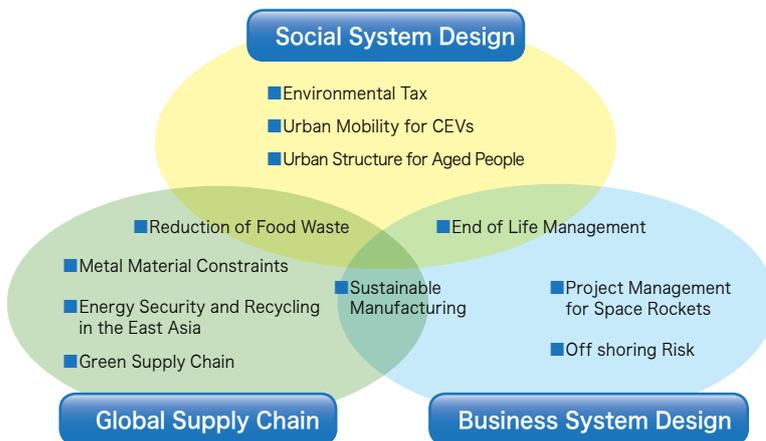
Web:

▶ <http://lab.sdm.keio.ac.jp/nakanolab/index.html> (日本語)  
▶ <http://lab.sdm.keio.ac.jp/nakanolab/en/index.html> (English)



### 1 研究室の概要

ビジネスエンジニアリング研究室(略称BE研)では、中野冠教授を中心にグリーン リチャード教授、湊宣明助教とともに、ビジネス分野の諸問題を文理融合的手法によって研究しています。BE研では、2010年3月に修士6名が卒業し、そのうち野中朋美君がSDM最優秀賞を獲得しました。2008年発足当時学生の少なかった研究室は、その後学生が増え続け、現在博士課程6名、修士課程23名となっています。就職経験のない若い学生はほぼすべて理工系で、就職経験のある学生は社会系が多いという特徴があります。



Research Topics in BE Lab.



2010年3月送別会にて

### 2 2010年度研究内容

本研究室は、社会構造デザイン、サプライチェーン、ビジネスシステムデザインの3つの分野で研究を行っています(図参照)。マルチエージェントシミュレーション、計算論的一般均衡モデル、数理最適化などを用いて、社会やビジネスの問題とその対策の効果を定量的に見える化する研究を行っています。

### 3 国際化

昨今、我が国は電機・自動車・建設・工作機械・環境など要素技術は世界一でありながら、世界のいたるところでビジネス上の敗北をするケースが急速に増加しています。まさに、日本に危機が迫っていると言える状況です。官民の国際思考の遅れが大きな要因の一つであり、大学教育における国際化は急を要していると思われます。

中野教授は、15年以上にわたり国際共同研究に参加しており、現在はEU/FP7プログラムのIMS2020プロジェクト(持続可能ものづくり)において、イタリア、ドイツ、スイス、アメリカなどと共同研究をしています。この1年間に、このプロジェクトでスイス連邦工科大学とイタリアミラノ工科大学の博士課程学生の留学を受け入れるとともに、オランダ、モロッコ、シンガポール、インドネシア、中国、ペルーなどの留学生も積極的に受け入れています。一方、BE研からオランダとフランスに留学する学生もあり、アメリカ人のグリーン教授のゼミ参加によって、ますます国際感覚を高められる研究室になっています。



研究室風景



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学 協生館  
Tel : 045-564-2518 Fax : 045-562-3502 E-mail : [sdm@info.keio.ac.jp](mailto:sdm@info.keio.ac.jp)

\* Fax や E-mail での連絡の際には、お手数ですが Subject の先頭に「SDM 研究所」とお書きください。

**SDM**  
System Design and Management